



令和 4 年 7 月 8 日

道南地域の高規格道路ネットワーク開通後の状況をお知らせします

～観光活性化や安全性・定時性の向上に寄与～

今年 3 月に開通した函館・江差自動車道（北斗茂辺地 IC～木古内 IC）及び、昨年 3 月に開通した函館新外環状道路（赤川 IC～函館空港 IC）の交通量及び開通による整備効果をとりましたので、お知らせします。

○交通量

〔開通後 概ね 1 か月〕

＜函館・江差自動車道 北斗茂辺地 IC～木古内 IC＞

- ・今回開通した区間の交通量は、令和 4 年 4 月の平均で約 4,800 台/日、ゴールデンウィーク（4/29（金）～5/5（木）の期間）の平均で約 6,600 台/日
- ・既に開通していた函館 IC～北斗茂辺地 IC における令和 4 年 4 月の交通量は、各区間の開通直後に比べ約 1.7～2.2 倍に増加
- ・並行する一般国道 228 号の交通の約 6 割が転換

〔開通後 概ね 1 年〕

＜函館新外環状道路 赤川 IC～函館空港 IC＞

- ・今回開通した区間の交通量は、令和 4 年 4 月の平均で約 9,400 台/日～17,800 台/日
- ・既に開通していた函館 IC～赤川 IC の交通量は、開通直後に比べ約 1.8 倍に増加
- ・並行する道道函館上磯線の交通量は約 2 割減少

○開通による主な効果

効果 1 【道南地域の観光活性化を支援】

高規格道路の整備に伴う広域移動の利便性向上により、主要観光地までのアクセス性が向上し、道南地域の観光活性化を支援しています。

効果 2 【交通転換による安全性および定時性向上】

函館新外環状道路の整備により、周辺道路における機能分担が図られ、地域住民や通学児童などの安全性や路線バスの定時性が向上しています。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

道路計画課長 武田 祐輔 (0138) 42-7614 (内線351)

広報官 福島 志乃 (0138) 42-7702 (内線216)

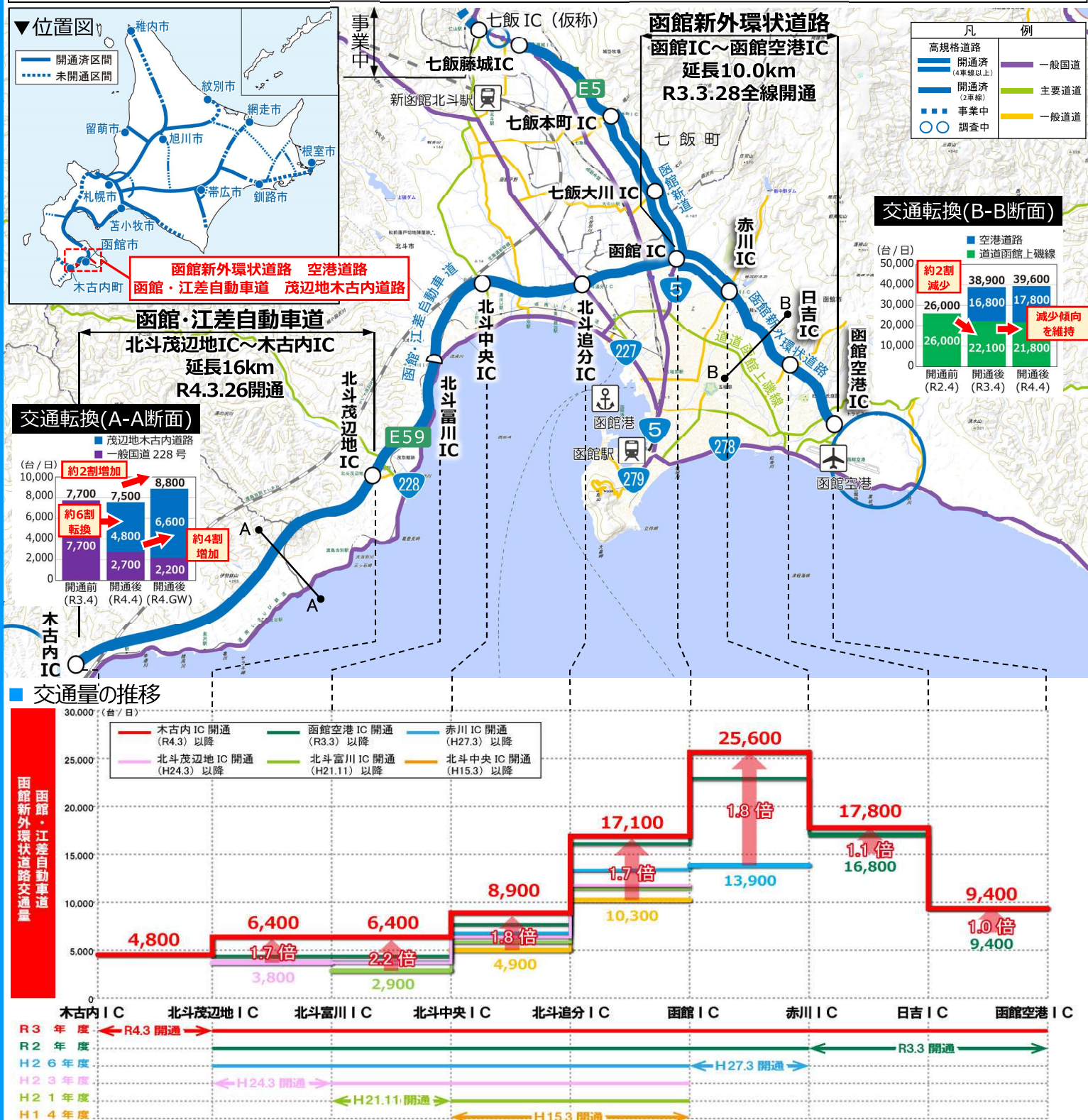
函館開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>



道南地域の高規格道路ネットワーク開通後の状況

もへじきこない ～茂辺地木古内道路・空港道路開通後の交通量と整備効果～

- 北斗茂辺地IC～木古内IC間の開通後の交通量は、約4,800台/日と、並行する国道228号の交通量の約6割が転換しています。
- ゴールデンウィークには、さらに約4割増加し、国道228号を含む合計交通量も約2割増加しています。
- 函館新外環状道路 赤川IC～日吉IC間の交通量は、約17,800台/日であり、並行する道道函館上磯線の交通量は約2割減少しています。
- 道南圏における高規格道路ネットワークの概成に伴い、広域移動の利便性が向上し、函館・江差自動車道および函館新外環状道路の区間交通量は、開通直後に比べ増加しています。

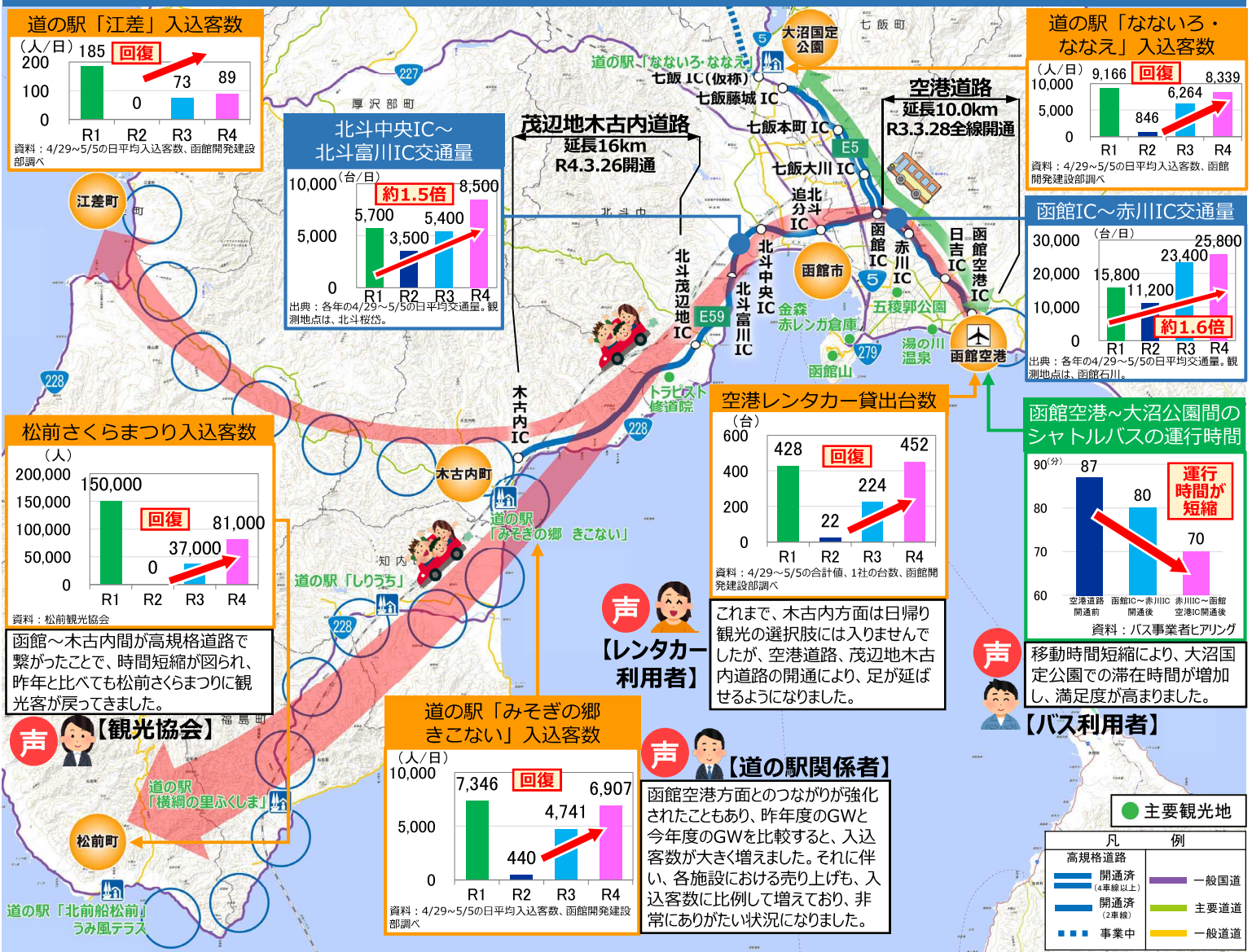


道南地域の観光活性化を支援



- 今年のゴールデンウィークは、函館新外環状道路、函館・江差自動車道の交通量が、令和元年に比べ1.5倍以上に増加するとともに、函館空港のレンタカー利用者、松前さくらまつり、道の駅などの入込客数も、新型コロナウイルス感染症前の水準に回復しています。
- また、函館新外環状道路が函館空港まで直結したことを機に、函館空港～大沼国定公園間のシャトルバスのルートが変更となり運行時間が短縮したことで、主要観光地における滞在時間が増加しています。
- 函館新外環状道路、函館・江差自動車道などの高規格道路の整備により、主要観光地までのアクセス性が向上し、道南地域の観光活性化を支援しています。

道南地域の観光活性化の支援



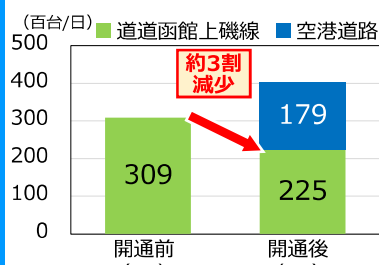
交通転換による安全性及び定時性向上



函館新外環状道路 赤川IC～函館空港IC

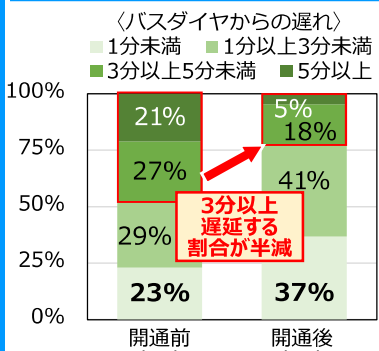
- 函館新外環状道路の開通に伴う交通転換により、道道函館上磯線（通称：産業道路）をはじめとする並行路線では交通量が減少しており、昭和団地通においては開通後の交通事故件数がわずか1件に減少しています。
- 函館新外環状道路の整備に伴う道路ネットワークの充実により、周辺道路における機能分担が図られ、地域住民や通学児童などの安全性や、路線バスの定時性が向上しています。

交通転換状況（A-A断面）

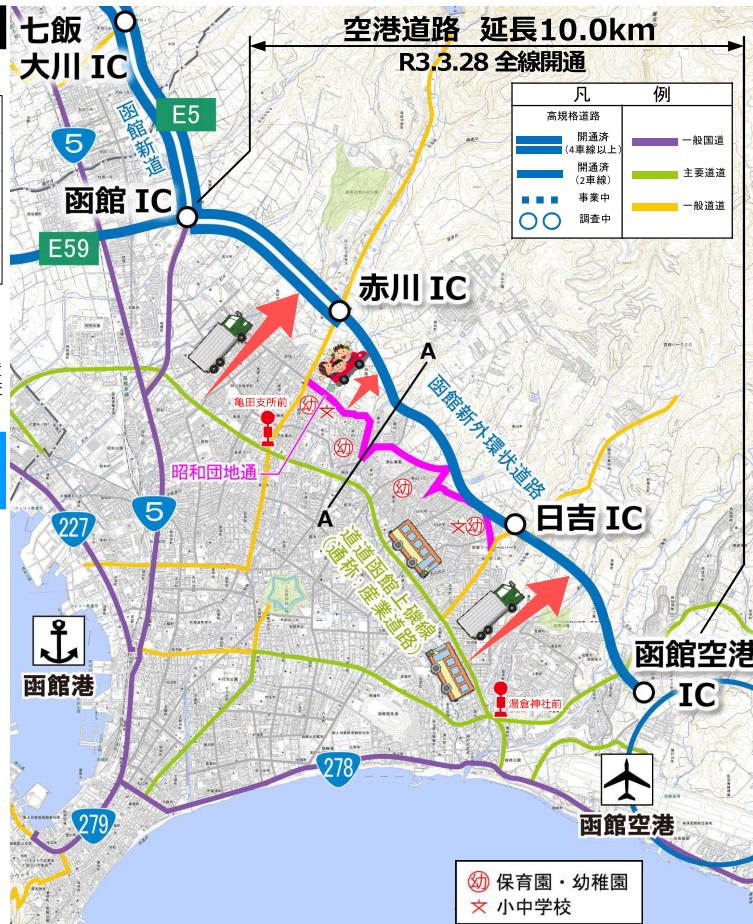


資料：R1.10、R3.10の平日平均交通量。空港道路は函館開発建設部調査結果（観測地点：函館陣川）、産業道路は断面交通量データ（公益財団法人日本道路交通情報センターHP、観測地点：鍛冶）。

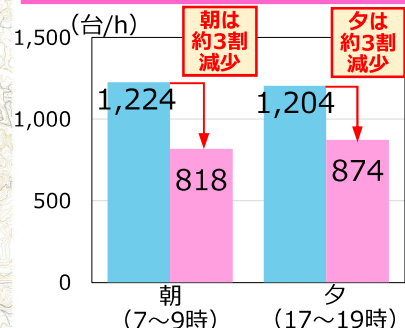
路線バスの運行状況（道道函館上磯線）



資料：函館バスプローベータ（R1.10、R3.10）、昼間12時間（7～19時）を対象。対象区間は湯倉神社前～亀田支所前間。バスダイヤとの差を集計して作成。

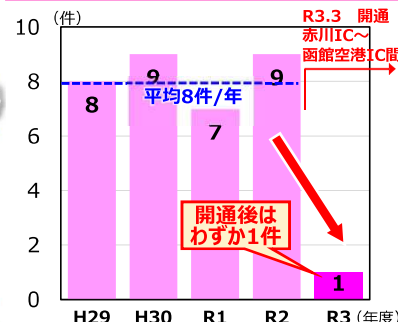


通勤・通学時間帯における交通量の変化（昭和団地通）



資料：H28.9.14（開通前）、R3.9.29（開通後）の交通量調査より。

交通事故件数の推移（昭和団地通）



資料：交通事故・生活道路統合データ（H29～R2）（公益財団法人交通事故総合分析センター）、R3.1～R4.3月は函館警察署資料より。*人身事故が対象

【バス事業者】

空港道路開通後は、産業道路の交通量が減少しており、通行する路線バス運行にともなう遅延時間が5分程度緩和されています。

【昭和団地通沿線学校関係者】

小学校周辺の交通状況について、通勤が集中する8時頃は、小学校前の昭和団地通の交通量が半分程度に減少しているように感じしており、通学児童の安全性向上に寄与しています。